

微細なミストを空間に放出し 冷却効果で外気温を下げる

植物が水分を蒸散することによる冷却効果を、機械を使って実現したのが辻本教授だ。ドライミストは水を圧縮して作った微細な霧（ミスト）を噴霧することで、外気温を2〜3度下げる効果がある。

今年は東北地方でも猛暑日が続いた。今後の街づくりにおいて暑

さ対策は必須となるだろう。既存

の建物にも取り付けることができ
るため、活用してほしいと願って
いる。空気が乾いている東北地方
は、霧が小さい粒のまま飛散す
るので、より効果が実感できるそ
うだ。ミストのサイズは髪や服が
濡れたり、化粧が崩れたりといっ



従来は圧縮した空気でもスト状にしていたが、直接、水を圧縮する技術を新開発。ノズル2個分で70Wとエアコンの10分の1の消費電力だ。

た心配がない16マイクロン。またドライミストを噴霧した周囲のビルは冷房コストも下がるという。積極的に導入してほしい。

今後、応用範囲が
広がっていきます



東京理科大学 工学部第二部建築学科 国際火災科学研究科
辻本誠教授。「燃糸工場や植物園にも適した技術です」